

- 単元目標
- ・積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。
 - ・アルファベットの大文字とその読み方とを一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 単元評価規準
- ・身の回りにアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付く。
 - ・自らアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。
 - ・アルファベットの大文字とその読み方とを一致させている。
 - ・欲しいものを尋ねたり答えたりしている。
 - ・身の回りにはアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付いている。
- 表現
- What do you want? The "A" card, please.
アルファベットの大文字 (A ~ Z), twenty one, ..., thirty
- 単元計画 (5時間)

時	目標と主な活動	評価		
		コ	慣	気
1	身の回りには様々なところにアルファベットの大文字が使われていることに気付くとともに、アルファベットの大文字とその読み方を知る。 ○「何を表しているか考えよう。」 【P 1】誌面の絵からアルファベット大文字を探す。 【P 2】「ポインティングゲーム①②」 【C 1】“Alphabet Chant” ○「キーアルファベットゲーム」			○ ・身の回りにはアルファベットの大文字が使われていることに気付いている。 <行動観察・振り返りカード分析>
2	アルファベットの大文字とその読み方とを一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知る。 【C 1】“Alphabet Chant” 【P 2】「ポインティングゲーム①③」 ○「何のアルファベット大文字かな？」 【C 2】“What do you want?” 【L】音声教材を聞いて、アルファベット大文字や数字を線で結ぶ。			○ ・アルファベットの大文字とその読み方とを一致させている。 <行動観察・振り返りカード点検> ○ ・アルファベットの大文字とその読み方とを一致させている。 <行動観察・振り返りカード点検>
3	アルファベットの大文字とその読み方とを一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C 1】“Alphabet Chant” 【P 2】「ポインティングゲーム①④」 ○「チェーンゲーム その1」3文字のアルファベットを言って順に伝えていく。 【C 2】“What do you want?” ○「ラッキーカードゲーム」			○ ・アルファベットの大文字とその読み方とを一致させている。 <行動観察・振り返りカード点検> ○ ・欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 <行動観察・振り返りカード点検>
4	積極的にアルファベットの大文字を読もうとするとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C 1】“Alphabet Chant” ○「チェーンゲーム その2」3文字のアルファベットを言ったりカードを見せたりしながら順に伝えていく。 【C 2】“What do you want?” 【P 3】「カード集めゲーム」 【A】身の回りから見つけたアルファベット大文字を表に書き写す。			○ ・欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 <行動観察・振り返りカード点検> ○ ・自らアルファベットの大文字を読んでいる。 <行動観察・振り返りカード点検> ○ ・自らアルファベットの大文字を読んでいる。 <行動観察・振り返りカード点検>
5	積極的にアルファベットの大文字を読もうとし、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。 【C 2】“What do you want?” ○「アルファベット表示辞典を作ろう。」身の回りで見つけたアルファベットの表示に必要なアルファベットカードをもらって、学級のアルファベット辞典を作る。			○ ・自らアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。 <行動観察・振り返りカード点検>

<p>1-Lesson 6 What do you want? 1/4 時間</p> <p>目 標 身の回りには様々なところにアルファベットの大文字が使われていることに気付くとともに、アルファベットの大文字とその読み方を知る。</p> <p>準 備 教師用カード (アルファベット大文字), (身の回りのアルファベット大文字表示の写真, または菓子箱などの実物), デジタル教材, (振り返りカード)</p>
--

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 	
<p>○「何を表しているか考えよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が見せるアルファベット表示の一部を見て、それが何かを推測して答える。 ・それをどこで見かけるか考えて答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者はあらかじめ、身の回りにあるアルファベット大文字表示を探して、その写真や表示のある実物を用意しておく。 ・それらの一部を見せ、それが何かを尋ねる。 ・アルファベット表示のすべてを見せて、それが何かを確認し、どこで見つけられるか尋ねる。 <p style="text-align: right;">※評価</p>	<p>身の回りのアルファベット大文字表示の写真, または菓子箱などの実物</p>
<p>【Let's Play 1】 p. 22, 23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面の町の絵からアルファベット大文字を探す。 ・アルファベット大文字を数え、26 文字あることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット大文字が、誌面の町の絵のどこに隠れているか尋ねる。教師用カードでアルファベット大文字を1文字ずつ紹介しながら、その文字を探させる。カードはアルファベット順に貼っていく。(デジタル教材では、誌面に隠れているアルファベット大文字を画面上で確認することができる。) ・黒板に貼った教師用カードをさしながら、アルファベット大文字を one, two, ..., twenty six と児童と一緒に数え、21~30 の数の言い方を紹介する。 	<p>教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材</p>
<p>【Let's Play 2】 p. 22, 23 (指導編“Hi, friends! 1” p. 23 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポインティングゲーム①②を、誌面周りのアルファベット大文字でする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポインティングゲーム①を行った後、ペアになり②を行わせる。アルファベットを言い、児童がさし示したのを確認してから、教師用カードで答えを確認させる。 	<p>教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材</p>
<p>【Let's Chant 1】 “Alphabet Chant” p. 24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら一緒に言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に貼られた教師用カードをさし示しながら、一緒に言う。 	<p>教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材</p>
<p>○キーアルファベットゲームをする。 (指導編“Hi, friends! 1” p. 23 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の言うアルファベットを繰り返して言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードをアルファベットにして、キーワードゲームを行う。 ・アルファベットを順不同に言う。 	<p>教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

評価規準

- ・身の回りにはアルファベットの大文字が使われていることに気付いている。【気】 <行動観察・振り返りカード分析>

<p>1-Lesson 6 What do you want? 2/4 時間</p> <p>目 標 アルファベットの大きい文字とその読み方とを一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を知る。</p> <p>準 備 教師用カード (アルファベット大文字), 教師用絵カード (果物・動物・食べ物・スポーツなど), デジタル教材, (振り返りカード)</p>

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Chant 1】“Alphabet Chant” p. 24</p> <p>・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら一緒に言う。</p>	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に貼られた教師用カードをさし示しながら、一緒に言う。	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
<p>【Let's Play 2】 p. 22, 23 (指導編“Hi, friends! 1” p. 23 参照)</p> <p>・ポインティングゲーム①②を、誌面周りのアルファベット大文字でする。</p>	・アルファベットを言い、児童がさし示したのを確認してから、教師用カードで答えを確認させる。	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
<p>○「何のアルファベット大文字かな？」をする。</p> <p>・欲しいものを尋ねる表現と答え方を知る。</p> <p>【活動の進め方】</p> <p>①指導者は、児童に目を閉じさせ、黒板に大きく1～30の数字を書き、その上にこれまでに慣れ親しんだ語彙 (果物・動物・食べ物・スポーツなど) の絵カードを貼り、数字を見えなくする。</p> <p>②指導者は、What do you want? The apple card? The baseball card? と言って、どのカードが欲しいか尋ねる。児童は、欲しいカードを、～, please. と言って答える。</p> <p>③指導者は児童が答えたカードを、その児童に渡す。</p> <p>④これを繰り返し、児童は隠れていた数字が何かを当てる。</p>	<p>・What do you want? と欲しいカードを尋ね、隠れていた数字が見えてきたら、What's this? と尋ねる。1, 2回目は1～20の数字, 3回目以降は, 21以上の数字で行う。 ※評価</p>	教師用絵カード (果物・動物・食べ物・スポーツなど)
<p>【Let's Chant 2】“What do you want?” p. 25</p> <p>・音声教材を聞いて、一緒に言う。</p>	・音声教材を聞かせ、教師用カードを見せながら一緒に言う。	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
<p>【Let's Listen】 p. 24</p> <p>・音声教材を聞いて、アルファベット大文字や数字を線で結ぶ。</p> <p>・点を結んでできた模様が何かを考えて、答える。</p>	<p>・音声教材を聞かせる際に、児童の実態に応じて、途中で音声を止めてアルファベット大文字や数字を確認する。</p> <p>・点を結んでできた模様が何かを、What's this? と尋ねる。(デジタル教材では、画面上で答えを確認することができる。) ※評価</p>	デジタル教材
<p>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

評価規準

- ・アルファベットの大きい文字とその読み方とを一致させている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

<p>1-Lesson 6 What do you want? 3/4 時間</p> <p>目 標 アルファベットの大きい文字とその読み方とを一致させるとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>準 備 教師用カード (アルファベット大文字), デジタル教材, (振り返りカード)</p> <p>巻末児童用カード (アルファベット大文字 : p. 47, 49 あらかじめ切り分けさせておくとよい)</p>

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Chant 1】“Alphabet Chant” p. 24</p> <p>・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。</p>	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に貼られた教師用カードをさし示しながら一緒に言う。	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
<p>【Let's Play 2】 p. 22, 23 (指導編“Hi, friends! 1” p. 23 参照)</p> <p>・(ポインティングゲーム①) 指導者が言うアルファベットを聞いて、各自が誌面 p. 22, 23 の周りにあるアルファベットの大きい文字をさし示す。</p> <p>・(ポインティングゲーム④) ペアになり、1つの誌面で行う。指導者が言うアルファベットを聞いて、アルファベットの大きい文字をさし示す。さし示した指はそのままに残し、多くの大きい文字をさし示していた方が勝ち。</p>	<p>・ポインティングゲーム2種類をすることを告げる。</p> <p>・アルファベットを言う。児童がさし示したのを確認してから、教師用カードを見せ、アルファベットの大きい文字を確認させる。</p>	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
<p>○「チェーンゲーム その1」をする。</p> <p>【チェーンゲーム その1の進め方】</p> <p>①列を作り、最後尾の児童は巻末児童用カード1組を用意する。</p> <p>②指導者は、I, N や O, F, F など、3文字程度のアルファベットを列の先頭児童に言う。</p> <p>③列2番目の児童は、先頭児童に What do you want? と尋ねる。先頭児童は、指導者から聞いたアルファベットを～, please. で答える。3番目児童は2番目児童に、What do you want? と尋ねる。2番目児童は、～, please. で聞いたアルファベットを答える。</p> <p>④これを繰り返していく。最後尾の児童は、伝え聞いたアルファベットの大きい文字カードを黒板に貼り、答えを確かめる。</p>	<p>・代表児童とデモンストレーションなどをして、進め方を示す。</p>	教師用カード (アルファベット大文字) 巻末児童用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
	※評価①	
<p>【Let's Chant 2】“What do you want?” p. 25</p> <p>・音声教材を聞いて、教師用カードを見ながら言う。</p>	・音声教材を聞かせ、教師用カードを見せながら一緒に言う。	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
<p>○ラッキーカードゲームをする。 (指導編“Hi, friends! 2” p. 31 参照)</p> <p>・各自、巻末児童用カードを1組用意してゲームをする。</p>	・グループで、What do you want? ～, please. とやり取りしてゲームを進めさせる。 ※評価②	巻末児童用カード (アルファベット大文字)
<p>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

評価規準

- ①アルファベットの大きい文字とその読み方とを一致させている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>
- ②欲しいものを尋ねたり答えたりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

1—Lesson 6 What do you want? 4/5時間

目標 積極的にアルファベットの大きな文字を読もうとするとともに、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準備 デジタル教材、(振り返りカード)

巻末児童用カード (アルファベット大文字 : p. 47, 49)

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
【Let's Chant 1】“Alphabet Chant” p. 24 ・音声教材を聞き、教師用カードを見ながら言う。	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に貼られた教師用カードをさし示しながら一緒に言う。	教師用カード (アルファベット大文字) デジタル教材
○「チェーンゲーム その2」をする。 【チェーンゲーム その2の進め方】 ①列を作り、偶数番目児童は誌面 p. 22, 23 を開いて持ち、最後尾の児童は巻末児童用カード1組を用意する。 ②指導者は、I, N やO, F, F など、3文字程度のアルファベットを列の先頭児童に言う。 ③列2番目児童は、先頭児童に What do you want? と尋ねる。先頭児童は、指導者から聞いたアルファベットを～, please. と口頭で答える。3番目児童は2番目児童に、What do you want? と尋ねる。2番目児童は、先頭児童から聞いたアルファベットを、自分の誌面 p. 22, 23 でさし示しながら Please. と言う。 ④4番目児童は、3番目児童に What do you want? と尋ねる。3番目児童は、2番目児童から示されたアルファベットを～, please. と口頭で答える。これを繰り返していく。 ⑤最後尾の児童は、伝え聞いた(示された)アルファベットの大きな文字カードを黒板に貼り、答えを確かめる。	・代表児童とデモンストレーションをして、ゲームの進め方を示す。 ※評価①	
【Let's Chant 2】“What do you want?” p. 25 ・音声教材を聞いて、一緒に言う。	・音声教材を聞かせ、一緒に言う。	デジタル教材
【Let's Play 3】 p. 25 ・カード集めゲームをする。 【カード集めゲームの進め方】 ①カードを持って教室内を歩き、出会った友達とじゃんけんをする。 ②負けた人は、What do you want? と尋ね、勝った人は欲しいアルファベットを～, please. と要求する。負けた人は持っていれば渡し、勝った人は自分のカードから不要なカードを選んで渡し、Here you are. Thank you. とやり取りして、Goodbye. と言って別れる。なければ、Sorry. OK, thank you. Goodbye. と言って別れる。 ③時間内に、同じアルファベットの文字のカードをたくさん集めた人が勝ちとなる。	・児童は、巻末児童用カードから、5枚選んで持つ。友達とやり取りをして、同じアルファベット大文字カードを5枚集める。	巻末児童用カード (アルファベット大文字)
	※評価②	
【Activity】 p. 25 ・身の回りから見つけたアルファベット大文字を表に書き写す。	・身の回りからアルファベット大文字表示を探させ、発表させる。見つけた表示のアルファベット大文字を誌面の表に書き写させる。 ※評価②	デジタル教材
・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。	振り返りカード

評価規準

①欲しいものを尋ねたり答えたりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

②自らアルファベットの大きな文字を読んでいる。【コ】 <行動観察・振り返りカード点検>

1—Lesson 6 What do you want? 5/5時間
 目標 積極的にアルファベットの大文字を読もうとし、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。
 準備 教師用カード（アルファベット大文字）、アルファベット大文字カード多数（ワークシート[アルファベット大文字シート1・2あるいは3・4]を印刷し切り離し作成）、（画用紙）、デジタル教材、（振り返りカード）、（色鉛筆・クレヨン・クレパス・マジック等）

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 	
<p>【Let's Chant 2】 “What do you want?” p. 25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞いて、一緒に言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞かせ、一緒に言う。 	デジタル教材
<p>○「アルファベット表示辞典を作ろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p. 25 の Activity の表に書き写したアルファベットの大文字表示から1つ選ぶ。 ・その表示に必要なアルファベットカードをお店屋さんごっこでやり取りをしてもらう。 <p>【やり取りの例】 児童1：Hello, what do you want? 児童2：Hello. The ‘A’ card, please. 児童1：OK, here you are. 児童2：Thank you. 児童1：You’re welcome. Goodbye. 児童2：Bye.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットカードを画用紙に貼り、表示を再現する。画用紙の裏にはその表示に関するヒントを絵に描き、アルファベット表示ポスターを作成する。 ・グループでクイズを出し合う。 <p>【クイズ例】 出題児童：No. 1 hint, brown. No. 2 hint, white. No. 3 hint, sweet. 児童：‘CHOCOLATE’. 出題児童：That’s right.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表児童がみんなにクイズを出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の Activity で書き写したアルファベットの大文字表示から1つ選んで、各自ポスターを作ること を告げる。 ・児童を、アルファベットカードを渡す側と、もらう側の2グループに分ける。 ・お店屋さんごっこでやり取りをして必要なアルファベットカードをもらい、画用紙に貼らせる。 ・時間がきたら役割を交替させる。 ・画用紙の表にカードを貼って表示を再現させ、裏にはその表示に関するヒントの絵を描かせる。 ・グループで、ポスターをもとにアルファベット表示に関するクイズを出し合って答える。 ・代表児童に、みんなの前でクイズを出させ、全員で答える。 ・クイズ終了後、ポスターを回収し、まとめて学級のアルファベット表示辞典にする。 <p style="text-align: right;">※評価</p>	画用紙 アルファベット大文字カード多数 色鉛筆・クレヨン・クレパス・マジック等
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度でよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

評価規準

- ・自らアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしている。【コ】＜行動観察・振り返りカード点検＞